

ときわ会 常磐病院では、  
地域の医療施設・介護施設との  
連携を強化するため、  
当院の最新の医療情報を定期的に  
お知らせしております。

Vol.  
29

## ときわ会 常磐病院 リハビリテーション課 言語聴覚士(ST)のご紹介

ときわ会 常磐病院のリハビリテーション課には3名の言語聴覚士(ST)が  
在籍、主に入院患者さんの嚥下障害やコミュニケーション障害などの  
リハビリテーションを行っています。  
「話す」「食べる」ことを喜びにしていただけるよう努めています。

Speech Language Hearing Therapist

## 言語聴覚士(ST)のご紹介

### 「話す」「食べる」力を毎日の楽しみに。

当院のリハビリテーション課は総勢20名で活動  
しています。リハビリテーション(以下、リハビリ)と聞くと、  
歩く・立つなどの身体のリハビリを連想すると思  
いますが、リハビリを実施する療法士は、主に3つの職  
種があるのはご存知でしょうか？

今回は私たち言語聴覚士をご紹介します。

当院の言語聴覚士(Speech language hearing  
therapist=ST)は現在3名で、「明るい笑顔と元気」を  
モットーに活動しています。言葉によるコミュニケー  
ションは言語、聴覚、発声・発音、認知など各機能が関  
係していますが、脳血管疾患などによりコミュニケー  
ション機能がある入院患者さんに専門的サービスを  
提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専  
門職と言われています。また、飲み込みの機能である  
摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。



松本 元美  
MATSUMOTO  
Motomi

佐藤 みづき  
SATO  
Mizuki

小松 紋末  
KOMATSU  
Ayami



# 常磐病院 リハビリテーション課 言語聴覚士(ST)のご紹介

ときわ会 常磐病院のリハビリテーション課には3名の言語聴覚士が在籍、入院患者さんに対して摂食・嚥下障害やコミュニケーション機能に関するリハビリテーションを行っています。

また、退院後のリハビリテーションについてもグループ施設では「訪問リハビリテーション」を行う部門もあり多角的な支援が可能です。

## ST 言語聴覚士の主な業務

当院の言語聴覚士が主に関わっている業務は、摂食・嚥下障害になります。当院では、医師が客観的に詳しく検査ができる嚥下内視鏡検査(VE)・嚥下造影検査(VF)を積極的に行っています。肺炎の6割は嚥下障害によるものとも言われており、詳細な症状を評価することで、より安全な食事の提供や摂食・嚥下リハビリができるよう医師・看護師・栄養士・放射線技師と連携し実施しています。



## Communication コミュニケーション

コミュニケーション機能(言語・発声・発音、認知など)に対してもリハビリを実施しています。言葉の理解・発話ができない「失語症」、呂律がまわりにくくなる「構音障害」、日常場面で必要な認知機能「高次脳機能障害\*1」に対し、口の運動や発声訓練、実物・絵カードを使用した言語訓練、パズルや間違い探し・記憶の訓練などを実施し、他者とのコミュニケーションがスムーズに行えるよう機能改善を目指しています。

\*1高次脳機能障害:脳の損傷が原因で、言語・記憶・注意・情動といった認知機能に起こる障害のこと。注意が散漫になる、怒りっぽくなる、記憶が悪くなる、段取りが悪くなるなどの症状があり、全国に50万人程いると言われています。

### TOPICS



ときわ会グループには訪問診療・看護・リハビリに特化した施設「訪問看護ステーションきゅあ」があり、退院後のリハビリテーションについても理学療法士による訪問サービスの紹介が可能です。通所リハビリやデイサービスなどに通うことが困難な方を中心に在宅でのリハビリのために、訪問させていただいております。皆様が安心して在宅でのリハビリが受けられるよう信頼関係を築き、サービスを提供させていただきます。



ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診療可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。



## 公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000